



～ 礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『苦楽』

苦しい事は楽しい事
楽しい事は苦しい事
苦があるから楽しい
楽があるから苦しい

時間は勝手に過ぎていく
人間の手では止められない
時間はいつも一方通行
いやでも年をとっていく

気がついたら半世紀近くが経っていた
やりたくない事
やめたい事
辛くて苦しくても
やらなければならぬ事

振り返って思い出す
意外と今では良い思い出
やっぱり逃げずに挑んでみて良かったな
自分自身に納得する

子供の頃は楽しい事はばかり夢を見ていた
楽しい事を考えると幸せになってくる
しかし、それもいつまでも続かない
現実には行動にとり
実際に形にしなければ夢は苦しくなる
諦めてしまおう心
それが一番何より悲しくて苦しい事

思い描いていた夢は遠いものかもしれない
逃げたり諦めてしまおうのは楽だ

しかし、心はいつまでも苦しいまま

走り続ける事は辛く苦しい事かもしれない
それでもいつかは夢は叶うと信じて走り続ける

遠くのゴールが全てではない

近くのゴールにたどり着き一度振り返ってみればいい
きつと楽しい気持ちになるはずだ

そしてまた次のゴールに足を踏み出せばいい

人生で楽とは苦という長い線の上に打たれる点

決して楽だけでは終わらない

どちらかと言えば苦の方が目立つもの

それでも生きていく限り

苦の線の上になるべく多くの楽の点を打っていくこと

人生楽ありや苦もあるさ

人生苦もありや楽もある

楽しい事の後は苦しい事

苦しい事の後は楽しい事

心掛けひとつで苦にも楽にもなるものですよ

逃げる心は苦の心

挑む心は楽心(らくこころ)



希哉